

第3章 未来を表す表現

■未来形ではなく未来を表す表現

(1) 未来を表す4つの表現

英語の動詞には現在形と過去形はありますが、未来形という形はありません。例えば、**make** という動詞には、原形の **make**、現在形の **make(s)**、過去形の **made** がありますが、未来形はありません。そこで未来のことを表すのに他の単語の力を借りてこななければなりません。中学生が習う「未来を表す表現」として、①**will**+動詞の原形、②**be going to**+動詞の原形の二つがありますが、③現在進行形、④現在形も未来のことを表すのに用いられます。

■will の用法

(1) 話し手の未来の予測を表す (単純未来)

- 01. **It will rain tomorrow.** (明日は雨が降るだろう。)
- 02. **You will catch the bus if you hurry.** (急げばそのバスに間に合いますよ。)
- 03. **She'll get well soon.** (彼女はすぐに元気になるでしょう。)
- 04. **I'll be fourteen a week from today.** (私はあと1週間で14歳になります。)

(2) 状況に応じて生じた決断を表す (意志未来)

- 05. **'The phone's ringing.'** **'I'll answer it'** (「電話が鳴っているよ。」「僕が出るよ。」)
- 06. **'This bag is very heavy.'** **'I'll carry it'** (「このかばんはとても重いよ。」「僕が運ぶよ。」)
- 07. **'There's the doorbell.'** **'I'll go'** (「玄関のベルが鳴っているよ。」「私が行きましょう。」)

(3) 否定文

will を含む文の否定文は、主語の人称や数に関係なく、一般動詞の原形の前に、**<will + not>** (=won't) をつける。

人 称	数	主 語	否定形 (短縮形)	後に続く形
1 人称	単 数	I	will not (won't)	+ 動詞の原形
	複 数	we		
2 人称	単 数	you		
	複 数			
3 人称	単 数	he		
		she		
		it		
	複 数	they		

(4) 疑問文

will を含む文の疑問文は、主語の人称や数に関係なく、主語の前に、〈Will〉をつける。

人 称	数	疑問文の語順	答え方
1 人称	単 数	Will I ~?	Yes, you will. No, you won't.
	複 数	Will we ~?	Yes, you will. No, you won't.
2 人称	単 数	Will you ~?	Yes, I will. No, I won't.
	複 数		Yes, we will. No, we won't.
3 人称	単 数	Will he ~?	Yes, he will. No, he won't.
		Will she ~?	Yes, she will. No, she won't.
		Will it ~?	Yes, it will. No, it won't.
	複 数	Will they ~?	Yes, they will. No, they won't.

(5) 主語と will の短縮形

主 語	助 動 詞	短 縮 形
I	will	I'll
we	will	we'll
you	will	you'll
he	will	he'll
she	will	she'll
it	will	it'll
they	will	they'll

■be going to の用法

(1) ごく近い未来の予測を表す (単純未来)

08. **Look at those dark clouds. It is going to rain soon.** (あの黒い雲を見て。すぐに雨がふるだろう。)
 09. **My sister is going to have a baby in December.** (姉は12月に赤ちゃんが生まれます。)
 10. **She is going to get better; her fever is down.** (彼女は直によくなるだろう。熱が下がったから。)

(2) 前もって決めていた計画を表す (意志未来)

11. **What are you going to do tonight?** (今晚何をする予定ですか?)
 12. **I'm going to see a movie with Tom.** (トムと映画を見に行く予定です。)
 13. **Tom is going to lend me his book.** (トムは私に本を貸してくれるつもりです。)

(3) 否定文

be going to を含む文の否定文は、be 動詞文の否定文と同じで、be 動詞の直後に <not> をつける。

人 称	数	主 語	BE 動詞	否定語	後に続く形	
1 人称	単 数	I	am	not	going to	+ 動詞の原形
	複 数	we	are			
2 人称	単 数	you	are			
	複 数					
3 人称	単 数	he	is			
		she				
		it				
	複 数	they	are			

(4) 疑問文

be going to を含む文の疑問文は、主語の前に、<be 動詞> をだす。

14. **Are you going to give me a hand?** (手伝ってくれるのですよね?)
 15. **Where are you going to play tennis?** (どこでテニスをするつもりなの?)
 16. **Who is going to cook lunch?** (誰が昼ごはんを作ってくれるの?)

※14.と 15.の主語は you であるのに対し、16.の主語は疑問詞の who なので、英語のルール「疑問詞は文頭に」によって、who is going to...? のような語順になります。

Dr. Higgins's room

未来を表す形式の will と be going to との違いは、中学生のうちには気にしなくていいと思いますが、簡単に2つの用法の違いを述べると次のようになります。

will (単純未来) ……話し手が何かが起こるだろうと考えたり信じたりすることを相手に「信じてほしい」と思っている場合に用いられる。そして、それは遠い未来のことかもしれないし、近い未来かもしれない。

be going to (単純未来) ……話し手が何か外的証拠(例えば、上の 08.~10.の例文でなら、「黒い雲が出てきた」とか「お腹が大きくなっている」とか「熱が下がった」等)に基づいて判断を下している場合に用いられる。そして、それはごく近い未来またはかなり近い未来について使われるの普通である。

will (意志未来) ……あらかじめ考えられていたものではなく、その場の状況で決断した意志を表す場合に用いられる。

be going to (意志未来) ……計画済みの意図や固い決意を表すので、すでに何か準備行動が行なわれている可能性もあるが、〈約束や手配〉といった具体的な行動までは至っていない。〈約束や手配〉などの手はずが整っている場合は現在進行形を用いる。

■現在進行形の用法

〈約束や手配〉などの手はずがすでに整っている場合の個人的な予定や計画を表現するときに現在進行形が用いられる。

17. **What are you doing tonight?** (今晚何をしますか?)

18. **I'm seeing Tom at eight.** (8時にトムと会う約束をしています。)

19. **My mother is going to Osaka next Wednesday.** (母は来週の水曜日大阪に行きます。)

Dr. Higgins's room

往来発着・滞在を表す動詞 (go, come, leave, start, arrive, stay など) の現在進行形は、具体的な事前の〈約束や手配〉などの手はずの有無とは関係なしに自由に使われる。

What are you doing tomorrow? (明日何か予定ありますか。)

I'm going to Naha. (那覇に行く予定です。)

My cosins are coming to my house. (いとこが来ます。)

I'm staying at home. (家にいる予定です。)

■現在形の用法

時刻表・暦などで、変更不可能な確定的な未来の計画を表現する場合に現在形が用いられる。

20. **The bus for Naha leaves at six tomorrow morning.** (那覇行きのバスは明朝6時に出発します。)

21. **We begin our summer holiday on July 21.** (夏休みは7月21日に始まります。)

22. **Christmas falls on Wednesday this year.** (今年のクリスマスは水曜日にあたります。)

■will you～?の特別用法

(1) 依頼

相手の意志を尋ねる形で「依頼」を表現しているのだが、丁寧な依頼表現とは言えない。丁寧な依頼表現には〈Could you～?〉〈Would you～?〉を用いる。〈Can you～?〉もよく使われる。また、親しい間柄では、命令文のあとに〈will you?〉や〈won't you?〉をつけて「依頼」を表すこともある。

23. **Will you help me with my homework?** (宿題をするのを手伝ってこないか。)

24. **Will you pass me the salt?** (塩をとってこないか。)

25. **Lend me your pen for a moment, will you?** (ちょっとペン貸してね。)

Dr. Higgins's room

Will you～? で、依頼された時、もしその依頼を受けるなら、**Yes, I will.** と答えられそうだが、依頼の文とは、AですかそれともBですかと尋ねているのではない(例えば、24. なら、「塩をとりますか、それともとりませんか」と尋ねているのではなく、「塩をとって欲しい」とお願いしているのである)ので、その返事として、**Yes, I will.** と答えることは変で失礼な返事ということになる。そこで、「依頼」に応じられるのであれば、**All right / OK / Surely / Certainly** 等を使い、応じられなければ、**I'm sorry.** と答えなければならない。

(2) 勧誘(招待)

相手に「勧誘(招待)」をするときに〈Will you～?〉または〈Won't you～?〉を用いる。命令文のあとにこの〈will you?〉や〈won't you?〉をつけて「勧誘(招待)」を表すこともある。

26. **Will you have a cup of coffee?** (コーヒーを一杯いかがですか。)

Yes, thank you. (はい、ありがとう。) **No, thank you.** (いいえ、けっこうよ。)

27. **Won't you come in?** (中に入りませんか。)

28. **Have a cup of coffee, won't you?** (コーヒー飲む?)

■shallの特別用法

(1) Shall I～? 「私が～しましょうか」

相手に「申し出」をするときに〈Shall I～?〉を用いる。

29. **Shall I cook lunch, Mom?** (お母さん、私が昼ごはんを作りましょうか。)

Yes, please do. (はい、お願いします。) **No, thank you.** (いいえ、けっこうよ。)

Dr. Higgins's room

アメリカでは、〈Shall I～?〉を日常会話で用いることは極めてまれであり、丁寧に言うのであれば、〈Should I～?〉が用いられ、親しい間柄では〈Do you want me to ～?〉を使うか、Do you も省略して〈Want me to ～?〉が使われるのが一般的であるそうです。イギリスでも〈Shall I～?〉の表現はかなりフォーマルな響きがあるようです。

(2) Shall we～? 「一緒に～しましょう」

相手に一緒にの行動を「勧誘」をするときに〈Shall we～?〉を用いる。

30. Shall we play tennis? (テニスをしようよ。)

Yes, let's. (はい、しましょう。) **No, let's not.** (いいえ、やめておきましょう。)

Dr. Higgins's room

アメリカでは、〈Shall we～?〉を日常会話で用いることは極めてまれであり、丁寧に言うのであれば、〈Should we～?〉が用いられ、親しい間柄では〈Let's ～?〉や〈Why don't we ～?〉を使うのが普通であるそうです。

《《 参考図書》》

『英語教師の文法研究』安藤貞雄著 (1984年再版発行 大修館書店)

『表現のための 実践ロイヤル英文法』綿貫陽 マーク・ピーターセン共著 (2006年発行 旺文社)

『英文法総覧』安井稔著 (1996年改訂版発行 開拓社)

『英文法解説』江川泰一郎 (1991年改訂第3版発行 金子書房)

『第4版 実例英文法』AJ トムソン/AV マーティネット著 江川泰一郎訳注 (1988年発行 オックスフォード大学出版局)

『英語基本動詞辞典〔普及版〕』小西友七編 (昭和60年発行 研究社)

『開拓社言語・文化選書 レキシカル・グラマーへの招待』佐藤芳明・田中茂範著 (2009年発行 開拓社)

『英文法の楽園』里中哲彦著 (2013年発行 中公新書)